

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより

令和5年6月12日

第10号

学びを日常生活に生かして…

前号では、中学校の理科の学習について紹介させていただきました。今回は、小学校の理科の場面からです。小学校4年生の理科では「天気と気温」の授業を行っている時間があります。普段の生活に関連しますので、ここで学んだことを思い出し、「だから、こうなっているんだ…」と少しでも学習したことと、生活が重なれば嬉しいです。

そこで問題ですが、「気温の変化を示すグラフを見て、何の天気を表しているのか？また、一日の最高気温が午後2時頃になるのどうしてですか？」を子どもたちと考えるときに、大切な学びのポイントはどこに置くのでしょうか。子どもたちは、小学校3年生で「太陽の光を調べよう」の学習で太陽光には「明るさと熱」があることを学習しています。この経験（既習）を使います。

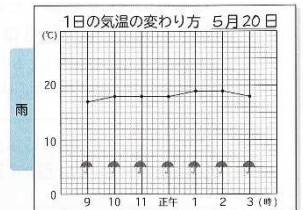
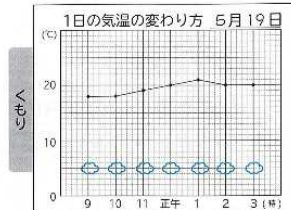
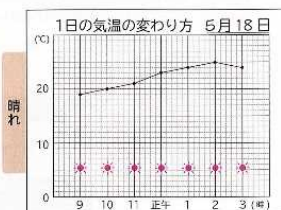
晴れの日、気温の変化が一番大きいことは生活経験上、子どもたちはわかっています。太陽は正午に南の一番高い位置を通過しますので、子どもたちは、太陽が一番高い位置にあるときに「気温が一番高いだろう。」と予想するわけです。しかし、教科書の気温の変化のグラフは午後2時ごろに最高気温を示します。予想と矛盾するのです。そこが「どうして？」と子どもに探求心を抱かせるところが学びのポイントになります。

そこで思い出してほしいのが、3年生のときに学習した太陽光は、空気を通して物を温める性質がある（地中に温度計を入れて調べる実験をしたり、虫眼鏡

で太陽光を一点に集めて紙に当て、煙を出したりする実験もしています。）ことです。そうすると太陽光は、まず、地面を温めます。その地面の熱が空気中へ放出されると空気が温まるので、太陽が一番高い位置にあるときは地面を温めている最中で、少し時間が経ってから地面の熱で空気が温まり、気温が上がることに繋がります。よって晴れの日、気温変化を示すグラフは、午後2時ごろ一番高くなり、全体的に変化の大きな動きを示す線になると判断することができるのです。

では、曇りの日は？となりますが、雲で地面に蓋をした状態になります。その分、太陽光が地面に当たる割合が減ります。地面を温めることも少なくなり、結果、気温変化も小さく、グラフの変化も小さくなります。さらに、雨が降ると地面に水がある状態になりますので気温変化を示すグラフは、ほぼ一直線のグラフになるのです。

小学校4年生の理科では、気温の変化を示すグラフから天気を判断することができるようになります。そして、5年生になると実際に天気図を見て天気を予想する学習を行い、気温の変化もいろいろな要素が関わっていることを学びます。更に、台風についても学習します。「分校で勉強したこと」を大切に覚えていてほしいです。



参観・懇談会より

8日（木）に参観・懇談会が行われました。今回は、保護者の方の他にも副看護部長さん、看護師長さん、看護師さんと病棟で子どもたちに関わっている方も授業参観に来ていただきました。分校での子どもたちの姿、原籍校での子どもたちの姿、それぞれに違いがあると思います。様々な姿を大人が見て、知ること、子どもたちを支えていく大人側の幅広い視野が広がり、子どもの成長を理解するきっかけになるのではないかと思います。皆様、お忙しい中、御来校いただきありがとうございました。

